

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

- シルバー人材センター安全就業優良賞を受賞された京都府精華町
シルバー人材センターの皆様おめでとうございます。

今月号では、優良賞を受賞された精華町シルバー人材センターからの報告を掲載します。



(全シ協安藤会長から表彰を受ける 精華町SC 川野 武豊 理事長)

○ 安全就業の取り組み — 公益社団法人精華町シルバー人材センター

この度は、平成 25 年度安全就業優良賞を賜り、会員、役職員一同感謝と共に今後の安全就業の一層の徹底強化に向け目指してまいります。

精華町（京都府相楽郡）は京都府の南西端に位置し、奈良市・生駒市・京田辺市・木津川市と接しています。面積 25.66 km²。西部と南部はなだらかな丘陵、東部には平坦な農地が広がり、東端には木津川が流れています。西部の丘陵地に自衛隊用地があります。昭和

55年ごろから西部丘陵地に関西文化学術研究都市が建設され、住宅開発も進んで、人口が急増しました。平成25年7月1日現在、人口36,990人(男性17,832人、女性19,158人)、13,849世帯数です。

当センターは、平成15年に設立され平成24年度実績は、会員数321名(粗入会率3.30%)、就業延人員28,258人日、就業率95.0%、契約金額122,577千円です。

事故発生状況は、事故件数の最も多かった平成18年度22件(受注件数871件、事故発生割合2.53%)に比べ、平成24年度7件(受注件数1,330件、事故発生割合0.53%)となっており、事故件数・発生割合共に減少傾向にありますが、依然として事故が発生していることから事故ゼロに向けての更なる取り組みの強化が課題となっています。

事故ゼロに向けて主体となって取り組んでいる安全・適正就業委員会の活動は下記の通りです。

(1) 安全・適正就業委員会

年4回実施、安全・適正就業事業計画の取り決め

(2) 安全講習会の実施

草刈機取扱・チップー取扱、熱中症対策、交通安全ビデオ視聴、AED使用方法の年4回実施

(3) 安全・適正就業推進研修

先進地シルバー視察(役職員視察)
府連合会安全推進大会(役職員参加)

(4) 安全・適正就業推進パトロール

担当理事、委員2名が1班となり、年18回実施。主として屋外作業、継続就業業務の就業場所を巡回

(5) 安全用具の使用の徹底

除草作業 ヘルメット、フェイスガードの着用。カラーコーン、石飛防止幕(高さ2m×長さ3m)の適宜使用
剪定作業 ヘルメット、安全帯の着用

これからも安全・適正就業委員会を中心として、「自主・自立、共働・共助」の理念の下安全就業に努めてまいります。

(安全・適正就業委員会担当理事 眞島 勝 記)

刺されたら(かまれたら) ～虫刺され等に注意しましょう～

この時期、屋外作業等、または野外レジャーで注意したいのが、虫刺されです。

虫刺されなどは、かゆい、痛いという身体的苦痛だけではなく、時には命にかかわることもあります。

そこで、今月は、虫等に刺され(かまれ)たりした場合の対策等を取り上げてみました。

<刺され(かまれ)ないための対策>

- 1 屋外では、なるべく肌の露出を少なくする。
- 2 蚊やアブなどの場合は、虫除けスプレーや携帯用虫除けなども活用する。
- 3 スズメバチは、黒いものに寄ってくる習性があるので、黒色の服装は避ける。
- 4 香水や光る物もハチを刺激するのでなるべく身につけないようにする。
- 5 ハチが寄ってきた場合、追い払わずに頭を隠して低い姿勢でハチが飛び去るのを静かに待つ。
- 6 ハチの巣には近寄らない(ハチが警戒し攻撃的になる)。

<もし刺され(かまれ)たら>

1 ハチ

草が繁茂し、草刈りの必要な時期が、ハチに刺される最も危険な時期です。

- ① 傷口を流水でよく洗い流す。針が残っている場合は、毒液が出ないようにそっと抜く。
- ② 傷口周囲を圧迫して、毒液をしぼり出す。
- ③ 濡れタオルなどで冷やし、安静にする。

2 毛虫

- ① 一度に何か所も刺されるので、毛が残っていたら粘着テープなどで取り除く。

- ② 患部をこすらずに流水でよく洗う。
- ③ 市販のかゆみ止めを塗り、腫れや痛みがひどい場合は、医療機関を受診する。

3 ムカデ

- ① 毒をしぼり出し、患部を水や氷で冷やす。
- ② 動悸、悪寒、めまい、吐き気、頭痛などの症状が現れたら、すぐに医療機関を受診する。

台風から身を守りましょう！

日本では、夏季の時期(7月～9月)に台風が多く発生します。

<台風に遭遇した場合>

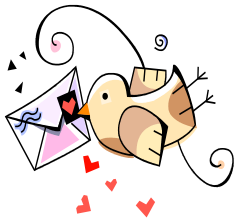
- 1 強風時は転倒や物の飛来の危険がある。丈夫な建造物やその物陰に避難する。
- 2 雨量が非常に多いときは、地下への避難はやめる。冠水の危険がある。
- 3 ふたが取れたマンホールや側溝などがあっても見えないので、冠水した場合には入らない。
- 3 壊れて危険なため、傘は差さない。
- 4 川、海岸、がけなどには近づかない。

今の時期は、様々な自然現象(台風・竜巻、局地的大雨(ゲリラ豪雨)、落雷など)、熱中症、虫刺されなど命にかかわることがたくさんあります。

屋外作業時、または旅行等で屋外に出ている時などには、十分に注意し、また、実際に遭遇した場合は適切に対応して事故を防ぎましょう。

日頃から「備えあれば憂いなし」を念頭に置き、安全対策を徹底して行い、この時期を安全に過ごしましょう。

(参考文献 中央労働災害防止協会 「安全衛生かべしんぶん」、「安全衛生のひろば」)



安全リレー

栃木県における安全・適正就業の取り組み

1. 栃木県の紹介

栃木県は日本のほぼ中心に位置しており、関東の北部にあります。観光地としては世界遺産に登録されている日光の二荒山神社・日光東照宮・日光山輪王寺、そして足利市にある足利学校は日本で最古の総合大学として知られています。

また、いちごの生産量は日本一であり、鮮やかな赤色と大きくて甘みの強い「とちおとめ」は栃木を代表する人気品種です。



陽明門（日光市）



足利学校（足利市）

2. 栃木県シルバー人材センター連合会の概要（平成24年度）

(1)センター数	26センター（県内全市町）
(2)会員数	10,526人（男性7,122人、女性3,404人）
(3)粗入会率	1.7%（男性2.5%、女性1.0%）
(4)就業率	88.9%（請負・委任）、76.9%（派遣）
(5)受注件数	66,252件（請負・委任66,115件）、（派遣137件）
(6)契約金額	4,971,617,519円（請負・委任） 160,843,000円（派遣）

3. 過去5年間の傷害事故発生状況

栃木県における度数率は平成23年度まで増加し、24年度は若干の減少がみられました。

たが、全国平均値と比較すると高い数値であり、事故防止への取り組みが重要課題となっています。

重篤事故については、昨年度、草刈りの残材を処分するため会員がリサイクルセンターで順番待ちをしていたところ、前のダンプがバックしてきて衝突し、死亡する事故が発生しました。また、今年に入ってから、就業途上に車を運転中、交通事故に遭い会員が死亡する事故も発生しており、再発防止策として毎月朝礼を行い、就業途上・就業中の事故防止を会員に呼び掛けているほか、自動車・自転車による事故を防ぐための交通安全講習会を開催する予定です。

年度	傷害事故件数			就業 実人員	就業 延人員	度数率 (栃木県)	度数率 (全国平均)
	就業中	就業途上	合計				
20	88 (0)	16 (0)	104 (0)	9,758	1,175,223	17.7	15.84
21	77 (0)	21 (0)	98 (0)	10,085	1,143,256	17.14	14.63
22	88 (0)	19 (1)	107 (1)	10,087	1,076,486	19.88	13.89
23	95 (0)	15 (0)	110 (0)	9,905	1,053,092	20.89	13.58
24	86 (1)	14 (0)	100 (1)	9,361	1,004,815	19.9	13.61

※傷害事故件数中、()内は死亡事故数

4. 安全・適正就業の取り組み

(1) 安全・適正就業パトロール

安全・適正就業強化月間の期間中、近年パトロールを実施していないセンターや事故報告の多かったセンター、度数率の高いセンターなど4センターを対象に実施し、各作業現場での安全就業におけるパトロールや、センターと発注者との契約書等の内容確認を行いました。



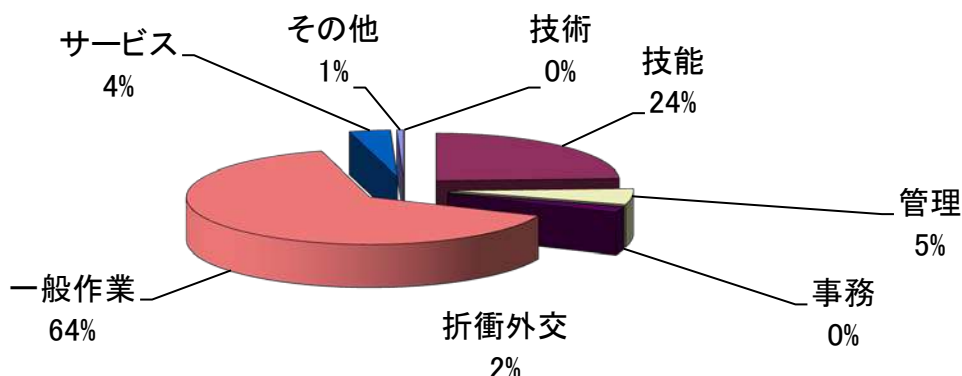
(2) 安全・適正就業委員会

県内の6センターから委員を選出し、安全・適正就業における年間スケジュールの内容確認や事故についての検証、各センターと連合会との情報交換を目的に開催しています。また、今年度は地区別の委員会を開催し、近隣のセンター間での意見交換を行う予定です。

(3) 刈払機作業従事者を対象とした研修会

作業群別の事故の割合を比較すると、一般作業が6割を占め、そのうち刈払機を使用している事故が最も高く、作業従事者に対する安全指導は重要な取り組みの一つとなっています。

※作業群別事故の割合



また、会員だけでなく職員も対象として実施し、各センターの安全指導に役立ててもらっています。センターからの要請があれば連合会の職員が講師となって研修も行っています。



(4) 安全・適正就業における物品の配布

安全・適正就業強化月間啓発用ポスター、のぼり旗やパトロールベスト、パトロール時に使用する腕章などを配布し、会員に対して安全就業についての啓発を行いました。

5. 今後の取り組み

平成24年度、25年度とも重篤事故が発生している現状にあり、事故防止に対する取り組みは重要な課題です。事故の防止に対しては様々な形で会員への啓発を実施していますが、会員一人ひとりが安全就業に対する意識を持ってもらうことが大切であるため、インパクトのある啓発や、会員が興味を持って取り組める講習会の開催を目標に、各センターと意見交換をしながら安全・適正就業に取り組んでいきます。

栃木県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

9月号の安全リレーは、茨城県シルバー人材センター連合会様からの報告を予定しています。

平成 25 年度 7 月 事故速報

重 篤 事 故

7月は、3件の重篤事故報告がありました(8月19日現在)。

昨年度同月と比較してみると、昨年度の累計10件に比して、本年度は、15件と5件増加しています。特に、7月は「安全・適正就業強化月間」であったにもかかわらず、遺憾ながら、就業中では、本年度は昨年度の4件に比して10件と6件の増加となっています。なお、就業途上では、逆に本年度は昨年度の6件に比して5件と1件減少しています。

就業中の重篤事故撲滅に向け、今後もさらに、皆で“一声かけ”しましょう！

7月分

平成 25 年度 7 月 累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成 24 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	10 (2)	5 (1)	5 (1)	8 (2)	2 (0)	就業中	4	2	2	4	0	
就業途上	5 (1)	4 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (0)	就業途上	6	4	2	4	2	
計	15 (3)	9 (2)	6 (1)	11 (3)	4 (0)	計	10	6	4	8	2	

↳ 対前年度比 150.0%

※ () 内は7月報告分

7月分報告内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
13	男 66 歳	就業中 (死亡)	植木の剪定作業終了後、切り落とした枝葉を片付けていた際に、地面に傾斜がある場所で足を滑らせ転倒し、首や背中を打撲した。(他の会員は離れた場所で作業中のため事故を目撃しておらず、会員の救助の声を聞き、駆けつけた)。 その後、病院に搬送されたが死亡した。	×	—	—
14	男 70 歳	就業途上 (死亡)	ミニバイクで帰宅途中、見通しのよい道(センターラインなし)で、前方から来た普通乗用車の運転席ドア付近に接触し、胸部をハンドル部分で強打、頭なども打って転倒した。 その後、病院に搬送されたが死亡した。	—	—	バイク
15	男 75 歳	就業中 (入院)	庭の端で三角梯子を使用して植木の剪定作業をしていた際に、梯子を樹木に固定していなかった為、体制を崩して隣家の裏庭(コンクリート敷)に梯子とともに落下し、頸椎骨折と頭部強打による内出血により意識が混濁している状況であった。	×	×	—

1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

7月は、就業中の事故17件、就業途上の事故7件と、合計24件の報告がありました。昨年同月の26件に比して2件の減少となっています。

累計を見ると、本年度は、昨年度と同数の92件となっています。また、就業途上は3件減少していますが、就業中が1件の増加となっています。

平成25年度7月報告分

	仕事の内容	事故数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		7月	累計	7月	累計	7月	累計	7月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	6(5)	20(24)	6(5)	20(24)	0(0)	0(0)	73	72
	除草作業	2(2)	9(6)	2(2)	9(6)	0(0)	0(0)	73	74
	屋内・屋外清掃作業	2(4)	10(11)	1(1)	5(6)	1(3)	5(5)	73	75
	その他	7(5)	27(18)	4(5)	21(15)	3(0)	6(3)	73	72
	計	17(16)	66(59)	13(13)	55(51)	4(3)	11(8)	73	72
就業途上	交 徒歩	0(1)	5(3)	0(1)	4(2)	0(0)	1(1)	—	80
	通 自転車	4(4)	15(19)	1(2)	5(8)	3(2)	10(11)	73	74
	手 バイク	1(4)	3(8)	0(2)	1(4)	1(2)	2(4)	72	73
	段 自動車	2(1)	3(3)	2(1)	3(2)	0(0)	0(1)	74	74
	計	7(10)	26(33)	3(6)	13(16)	4(4)	13(17)	73	75
合 計		24(26)	92(92)	16(19)	68(67)	8(7)	24(25)	73	73

()は平成24年度同月の発生件数

事故報告書(重篤事故、1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故)は、その有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出して下さい。

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様には暑さにめげずご活躍のことと思います。

8月になると、いつも思い出されますのが、28年前に勤務したことのある北海道は札幌のことです。勤務場所は大通公園に面していて、とても素敵な場所です。また、季節的にも一番良いように感じていましたが、本州から比べると1カ月早く、秋めいた感じながらも、大通公園では、札幌ビール祭りが開催され、たくさんの人、観光客で賑わいを見せております。お酒が全然飲めない私ですが、雰囲気が好きで職場の仲間と、ついつい札幌ビール祭りに行ったことを思い出します。

全国地域、地域で良いところはたくさんあると思いますが、大通公園はその一つであると思います。このように、地域、地域では、8月の暑い時期を乗り切る知恵はあるのではないかと思います。この猛暑で体力・気力も緩みがちです。休養、睡眠を十分取り体調管理に腐心しながら安全に就業していただきたいと切に願っております。
(木 田)

毎日、非常に暑い日が続いております。皆様元気にお過ごしでしょうか。

さて、今月は今の時期に必要な、虫に刺されたり、かまれたりした場合の対策等について特集しました。

ハチに刺される一番危険な時期は、ハチの巣が最も発達し、ハチの数が多い時期です。ハチの種類によってその時期は異なるようですが、夏季の時期だけでなく、1年を通して活発に活動するハチもいるようです。ハチのなかでも、最も恐ろしい存在である、スズメバチは7月～10月の夏季の時期がそれに当たります。

私は、都会暮らしのため、実際にハチが飛んでいるところをあまり見たことが無いため、ハチに対して、日常的に怖さを実感することがあまりありませんが、旅行などでいろいろな地域に行った際、怖い思いをした事が何度かあります。突然ハチと遭遇すると、冷静さを失くし、むやみに叩いたり、騒いだりする人が多く見受けられ、私も巻き添えをくい、危ない目に遭いそうになったことがあります。特に、スズメバチは、非常に攻撃的なため、絶対に、叩くなどの攻撃的な行動をとってはいけません。

会員さんが屋外で作業をする場合には、暑さ対策と共にハチ(特にスズメバチ)等の危険な生物にも十分注意を払っていただきたいと思います。

夏季は、いろいろと気を付けなければならないことが多い時期ではありますが、楽しいイベントごとが多い時期でもあります。安全対策を怠らず、毎日を楽しく、そして安全にお過ごし下さい。
(中 嶋)

企画管理部研修・支援課長 木田 英裕 TEL : 03(5665)8016(直通)

安全就業推進係長 中嶋 修 FAX : 03(5665)8021

安全は 一声かける ゆとりから

頒布物のご案内

全シ協では、シルバー人材センター事業を円滑に運営・推進していただく一助として、手引書、冊子などの頒布物を発行しています。



(2014年版会員手帳名入れ版イメージ)

会員手帳として、見やすく、使いやすく、そしてお求めやすい価格(市販の手帳に比べると約半額)で提供しています。

会員手帳の主な特徴

- ◆ 文字が大きく、見やすい。
- ◆ 月別カレンダーにメモ欄と備忘欄を新設、見やすく・使いやすい。
- ◆ 体験等記録欄を新設
 - ①ヒヤリ・ハット体験等を記録することで、安全に対する反省と意識向上が期待できる。
 - ②ボランティア活動、サークル活動、技能講習受講等の記録ができる。
- ◆ 便利なポケット付きで、カードサイズの会員証等がはさみ込める。

全国版	1部 290円(税込) 送料: 1~9部は実費、10部以上は送料込 平成25年10月上旬より順次発送予定
名入れ版	1部 330円(税込・送料込、150部以上で10部単位) 平成25年10月下旬より順次発送予定

お申し込み・お問い合わせは **公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会 企画情報課**

FAX 03-5665-8021 E-mail: zsk@sjc.ne.jp

★全シ協会員は、会員専用ページの「頒布物の購入申込み」メニューからお申込みください。

★個人購入は、冊数、お名前、郵便番号、住所、電話番号を明記したFAX・電子メール・郵便ハガキでお申し込みください。